

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部総務課		■担当係	市史編さん室
■評価事業名称	市史編さん事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	010200 - 501	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	03 社会教育機能の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	既刊の北上市史には明治時代以降の資料編と旧北上市・江釣子村・和賀町のすべてを網羅した通史編が無い為、新北上市史として整備を行うもの。市史編さん委員会の開催、市史編さん専門委員会の開催、部会の開催、資料収集、資料調査、市史執筆の準備、広報活動、普及事業の推進。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	市史編さん事業	市民	市史編さん委員会・市史編さん専門委員会・専門部会(考古、古代、中世、近世、近代、現代)、資料調査(自然、民俗、中世、近世、近代)、資料収集(資料寄贈、図書寄贈、情報提供)、広報活動(広報掲載、モニター広告、講座)	市史編さん委員会(2回)・市史編さん専門委員会(2回)・専門部会(自然1回、民俗2回、考古2回、古代3回、中世3回、近世2回、近代3回、現代4回)、資料調査(自然、民俗、中世、近世、近代、現代)、参考資料集の販売(32冊)、資料収集(資料寄贈8件、図書寄贈4件、情報提供・調査4件・借用22件)、広報活動(広報掲載、モニター広告、FMラジオ、ケーブルテレビ、市民大学ゼミナール地元学部共催)、研修1回(歴史資料保存利用)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	3,332	13,328	13,433	7,928	
人件費	22,007	6,073	23,938	31,767	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	25,339	19,401	37,371	39,695	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

指標 コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	市史編さん委員会の開催	2回	1回	1回	2回	委員会の開催数
02	市史編さん専門委員会の開催	3回	1回	1回	2回	委員会の開催数
03	資料収集	他市町村史収集、参考図書収集、資料寄贈8件	他市町村史収集、参考図書収集、資料寄贈6件	資料寄贈7件	資料寄贈8件、図書寄贈4件	
04	先進自治体視察	2件	1件	0件	0件	視察件数
05	編集・校正	0	0	業者選定	入稿、校正	
06	市史刊行	0	0	0	0	
07	広報・普及事業	広報きたかみ掲載、企画展開催(444名来場)、市民大学ゼミナール地元学部共催	広報きたかみ掲載、モニター広告掲載、新聞取材1件、参考資料集刊行、市民大学ゼミナール地元学部共催	広報きたかみ掲載、モニター広告、ケーブルテレビ、参考資料集販売、市民大学ゼミナール地元学部共催	広報きたかみ掲載、モニター広告、FMラジオ、ケーブルテレビ、参考資料集販売、市民大学ゼミナール地元学部共催	
08	部会の開催	自然2回、民俗2回、中世2回、近世1回、近代1回	自然2回、民俗2回、考古3回、古代3回、中世3回、近世2回、近代4回、現代5回	自然3回、民俗2回、考古2回、古代3回、中世4回、近世2回、近代3回、現代5回	自然1回、民俗2回、考古2回、古代3回、中世3回、近世2回、近代3回、現代4回	部会の開催数
09	資料調査	自然(地質10回、植物3回、動物1回)、民俗1回、近世1回	自然(地質、植物7回、動物15回)、民俗8回、中世(文献1回、板碑1回、城館21回)、近世2回、近代3回、現代1回	自然(地質10回、動物12回、昆虫14回、魚類4回植物3回)、民俗31回、中世(城館25回、石造物2回、マイリノホトケ3回)近世1回、近代8回、現代9回	自然(地質3回、動物3回、昆虫3回)、民俗37回、古代2回、中世(城館16回、石造物5回、マイリノホトケ4回)近世1回、近代22回、現代18回	調査回数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

刊行計画に沿って刊行できるよう、内容の調整を図りながら進めている。

問題点・課題等

部会を運営していくための人員が不足している。資料が集まってきたため、資料を保管する場所や整理するための作業場が狭くなっている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低いですが、市内外の資料所蔵者、執筆者等から多くの協力を得ながら事業を進めており、編集・印刷業者と契約済みである。前10冊のうち今年度には1冊目を発刊するので、事業を廃止することは難しい。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了